

平成28年度 堺市立農業公園 「遊休地の有効活用」 予算要求資料

年間入園者数については、平成22年度の35万人から年々増加傾向にあり、平成26年度は44万人を超えました。27年度についても順調に推移していますが、安定した運営を永続的に行うには、更なる利用者数の向上、利用者満足度の向上が重要だと考えます。主として「動物」「花」「遊具」「自然」は来園動機に繋がりがやすく、現在遊休地化している部分を有効活用することで、新規利用者の獲得及びリピーターの増加が大いに期待できます。（資料①参照）

1 羊の放牧地改修

羊の放牧地に、雄大な眺望を楽しむことができる展望台を設置し、その展望台へと続く遊歩道では、広々とした自然の中でコキアを中心とした四季折々の花の観賞、また、ヒツジなどの動物とのふれあいが楽しめる。

コキアを植栽することにより、今までほとんどなかった「秋の紅葉」という打ち出しが可能となる。

花畑：【4月～5月】菜の花 【7月～9月】コキア(緑色) 【10月】コキア(紅葉) 資料②参照

(1) 【現状と課題認識】

ア 「羊の放牧地」はハーベストの丘・村エリア最奥部に位置し、全体が草地で構成された傾斜地形で、羊の追い込みショー等で

活用しているが、その活用面積は敷地の半分以下であり、他は遊休地化している。

イ 敷地上部からの眺望は泉北ニュータウンをはじめ、雄大な眺望を楽しむことができる。しかしながら、現在は未整備となっており、

立入りができない状況である。

(2) 【具体的な企画提案】

ア 展望台を設け、恵まれた眺望資源を活用することにより四季を通じた話題性が可能となる。

イ 遊歩道を造成し、車イスやベビーカーでも利用できるようにする。

ウ 遊歩道の西側に四季折々の花が観賞できるように花畑を設け、東側には羊とのふれあいができるエリアを設ける。

エ 花畑はコキアを一面に植栽することにより、7月から11月までの長期間の活用が可能となる。

(3) 【期待される効果】

ア 人気の高い「動物ふれあい」「花の観賞」を拡張することにより、更なる集客向上が期待できる。

イ 展望台・遊歩道からの眺望が楽しめるようになり、ハーベストの丘の新たな魅力拡大に繋がる。

ウ 村エリアで唯一活用されていない放牧地付近を改修することにより、敷地全体が有効活用でき、村エリアの更なる活性化に繋がる。

エ 大阪府下ではコキアの花畑を行っている施設はなく、実現すれば大阪で初めてとなり、話題性ができる。

(4) 【新たな展開】

ア コキアは別名ホウキソウとも言い、紅葉後ホウキの材料となりますので、幼児から大人まで幅広い年齢層に「ホウキ作り体験」をしていただける。

イ 展望台から「ホウキ作り体験」と幅広い活用ができ、一般利用者に加え、幼稚園や小学校などの団体誘致も可能となる。

ウ コキアを使った「お絵かきイベント」「メッセージイベント」等、様々な展開が図れる。

(5) 【事例】

事例：国営ひたち海浜公園（茨城県）

近年、国営ひたち海浜公園では、コキアが話題となり、入園者数が飛躍的に伸びている状況です。

2 アスレチック広場遊具設置工事

「村の収穫祭」をテーマに農場、農具、作物、動物から連想するユニークな遊具広場の復活を行うものである。

(1) 【現状と課題認識】

ア 開園当初、本公園の村のエリアにおいて、アスレチック広場を設置していましたが、老朽化等により撤去し、更地の状態です。

イ 利用者の意見により有料遊具ではなく、子どもが気軽に遊べる遊具の導入を設置して頂きたい旨の強い要望意見が多数

寄せられている。

ウ 保育園・幼稚園における、遠足の行動について、滞在は村エリアを主として利用されています。しかし、動物のふれあい、

お弁当の食事後、遊ぶ場所がなく滞在時間が短く帰園されている。

エ 保育園・幼稚園・小学校団体について、リピーターは減少傾向となっており、一般入園者数は増加している一方、保育園や

幼稚園の利用者数が伸び悩んでいるのが状況である（資料③参照）

オ ファミリー主体の利用者層であり、未就学児童については遊ぶ場所が不足しており、アスレチック遊具の復活は重要と考える。

(2) 【具体的な企画提案】

ア 幼児用、児童用に機能分離したコンビネーション遊具を設置し、多様な年齢層が安全に楽しむファンタジックな構成とする。

・堺市立農業公園のテーマでもある「農」と「動物」に因んだ形の遊具を設置する。

・広場中央にシンボリック的存在であるサイロ型展望台を配し、四方に伸びる「滑り台」「平均台」など、登る、滑る、つかむなど様々な遊びが体験できる空間を構成する。

イ 利用者の意見を反映した、幼児・園児を対象とした遊具とする。

ウ 「遊具の安全に関する基準」に則った、幼児・児童目線での安全で遊べる遊具の設置を行う。

(3) 【期待される効果】

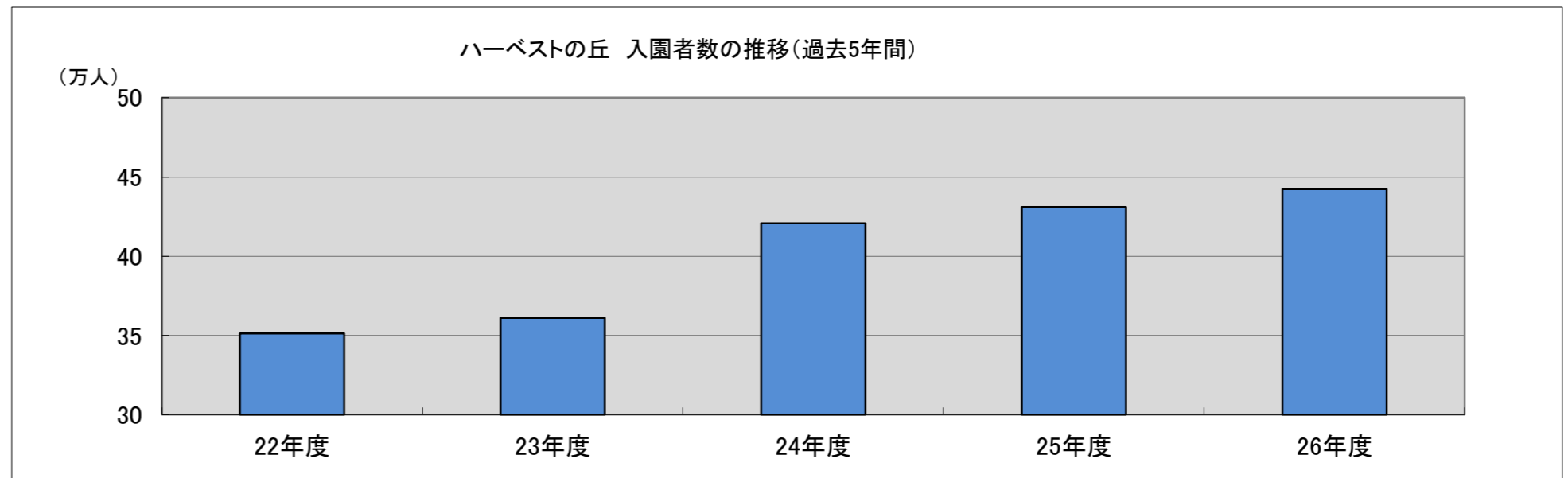
ア 遊具を取り入れることにより、本公園への興味と話題性が生まれ、リピーターとしての利用が期待ができる。

イ 遊具広場を団体パンフレット等に掲載することにより、保育園・幼稚園遠足の利用促進に繋がる。

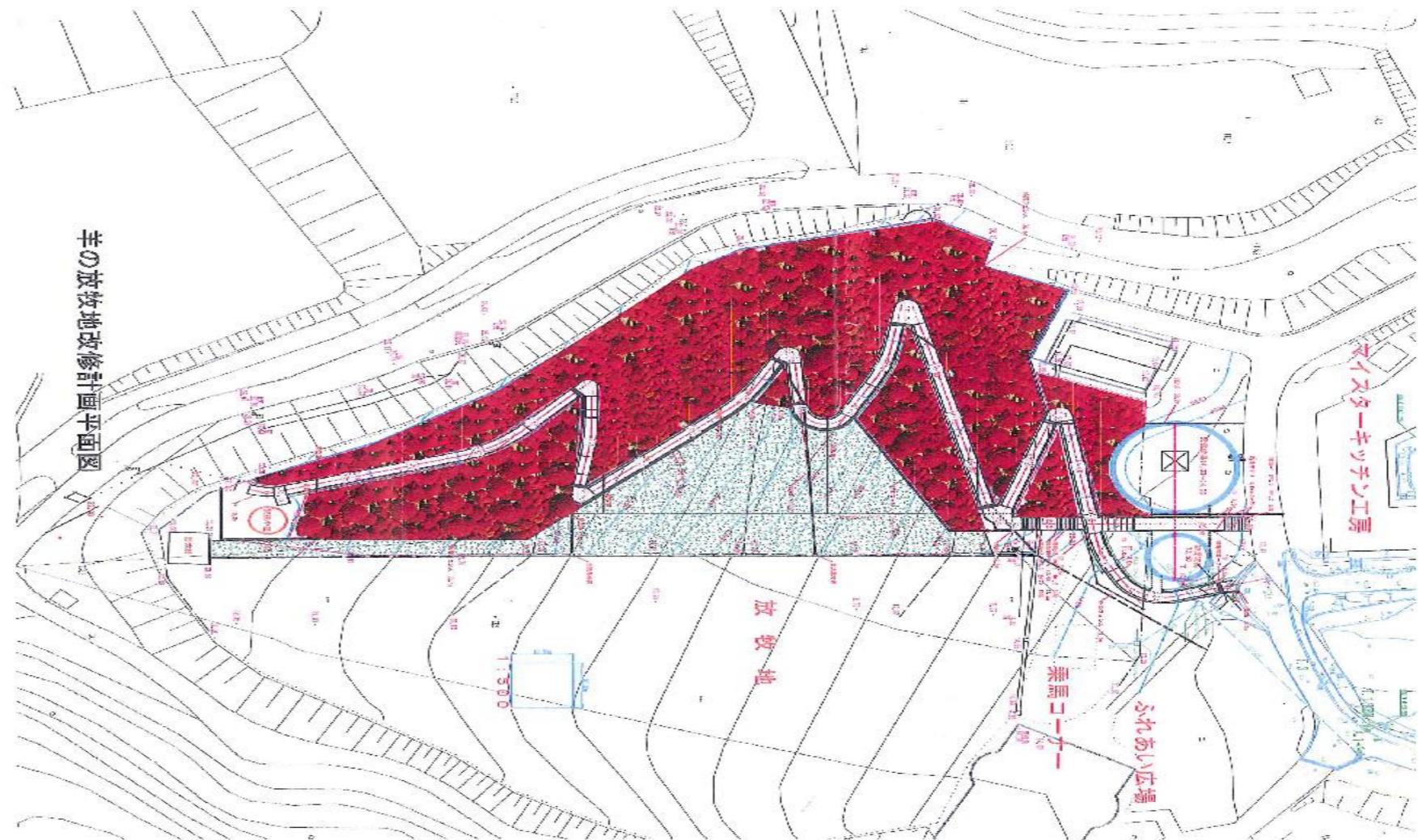
資料①「ハーベストの丘」入園者数の推移（過去5年間）

（単位：人）

年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計
入園者数	351,369	361,076	420,807	431,060	442,273	2,006,585



資料② 秋の紅葉「コキア」イメージ



資料③ 幼稚園・保育園・小学校団体の推移

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期合計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		平成24年度	幼稚園保育園	2,947	2,773	32	128	0	357	6,237	970	671	0	0	78
	小学校	289	717	230	0	84	0	1,320	623	435	0	20	229	48	2,675
	合計	3,236	3,490	262	128	84	357	7,557	1,593	1,106	0	20	307	373	10,956
平成25年度	幼稚園保育園	809	3,617	725	0	0	135	5,286	1,233	516	0	0	89	259	7,383
	小学校	248	727	498	0	0	231	1,704	408	387	0	0	91	232	2,822
	合計	1,057	4,344	1,223	0	0	366	6,990	1,641	903	0	0	180	491	10,205
平成26年度	幼稚園保育園	762	3,831	98	12	0	374	5,077	541	185	0	0	0	362	6,165
	小学校	58	408	100	12	105	270	953	317	382	0	0	30	160	1,842
	合計	820	4,239	198	24	105	644	6,030	858	567	0	0	30	522	8,007
平成27年度	幼稚園保育園	1,195	2,846	607	82	90	459	5,279	840	230	0	0	0	300	6,649
	小学校	20	152	100	0	0	0	272	720	100	0	0	50	150	1,292
	合計	1,215	2,998	707	82	90	459	5,551	1,560	330	0	0	50	450	7,941

※ 平成27年度10月～3月は見込み数値

※ 将来的には「羊の放牧地改修」「アスレチック広場遊具設置」後、「ローラーすべり台」を導入し、「じゃぶじゃぶ広場も含め」その一帯がハーベストの丘のメイン施設となり、大幅な入園者数の向上を図る構想である。